

## 序

甲南大学経営学部は昭和35（1960）年4月に開設された。本年4月開設30周年を迎えた。学部開設当時は、経営学部を有する大学は少なく、関西の私立大学としては最初の経営学部であった。殊に経営学部の教学方針の決定には、先輩諸先生方による多大な努力がはらわれたと聞く。その教学方針は、大旨つぎの内容である。理工学的知識と理解力のある経営担当者の育成、理論的ならびに实际的教育の実行、経営学・会計学・商学を包含し、その理論的歴史的政策的視野より分析的知識と実践的能力の育成と、かつ社会諸科学の総合的把握による新しい経営者の育成、国際的視野の育成、わが国の発展と繁栄そして社会の福祉に資することがそれである。今日、表現においてこそ、簡素化されてはいるが、基本的方針は変わるものではないし、今後も経営学部教員はこの方針を尊重し、かつ、この責務を果たすよう30年の歴史をふまえ、一層の努力を行っていくものである。

さて、甲南大学経営学部経営学会により、経営学部開設30周年記念事業の一環として記念論文集の編纂が計画され、「現代経営学の挑戦」が刊行される運びになったことは、まことに喜びにたえないと同時に、意義深いものを感じる。顧みれば本学部経営学会においては、すでに過去2回、10年ごとに開設記念論文集を刊行してきた。「現代経営学の課題」（千倉書房、1969）、「現代経営学の展開」（千倉書房、1980）がそれである。ここにまた本学部教員の足跡が一つふえることになるが、この記念論文集の刊行を一つの惰力として、書名のごとく、経営学に対する益々の情熱と挑戦を念ずるものである。

最後に、甲南大学経営学部経営学会の一層の発展を期待するとともに、貴重な論稿を寄せられた執筆者各位、さきの学部創設10周年、20周年記念論集につづき、出版のご苦勞を引受けて下さった千倉書房代表取締役副社長千倉

2 序

孝氏ならびに同社塚越俊治氏に心から感謝の意を表するとともに御社の益々  
のご発展を願うものである。

平成元年 晩秋

甲南大学経営学会会長

星 野 良 樹